

令和4年度第3回函館市男女共同参画審議会会議録	
開催日時	令和4年10月6日 木曜日 18時00分から
開催場所	函館市役所 8階大会議室
議 題	議事 (1) 第3次函館市男女共同参画基本計画の中間見直しについて (2) その他
出席委員	荒木会長，池田副会長，長浦委員，塗委員，木村委員，桒澤委員， 佐々木委員，加藤委員，竹原委員，京野委員 (計10名)
欠席委員	成田委員，高橋委員
傍聴者	0名 (報道機関0社)
事務局	佐藤市民部長，鹿磯市民部次長，兵吾市民・男女共同参画課長， 市民・男女共同参画課 田中主査，簾内主事
事務局	定刻となったので，令和4年度第3回函館市男女共同参画審議会を開催する。 本日の会議は，10名が出席され，男女共同参画推進条例施行規則第12条第7項の規定により，会議が成立していることを，報告する。
荒木会長	それでは，議事を進めていく。 議題(1)第3次函館市男女共同参画基本計画中間見直し案について事務局から説明をお願いします。
事務局	《資料1，2をもとに説明》
荒木会長	委員の皆様から意見，質問承りたい。
竹原委員	前回の審議会で，性の多様性について意見を出して話し合い，人権のところは性の多様性の項目が表記されているので，意義はない。
荒木会長	ほかにいかがか。 私から1点よろしいか。 資料2の一番上の4ページのところだが，修正のため数字を挙げていただいたが，全国調査と函館市の調査で回答項目の内容が異なる。全国調査だと「子どもができて，職業を続ける方がよい」だが，函館市は「結婚や出産にこだわらず仕事を続けた方がよい」となっている。回答項目の内容がずれているので，29ページの図表-16のところだが，回答項目が違うのであれば，回答項目を挙げた上で4ページにも回答の項目を一緒に挙げて，ずれているけれど，同じものとして比較すると，という趣旨で明記した方がわかりやすいのではないか，というのが私の意見である。 皆様いかがか。
木村委員	今回の修正案に異論はない。

中身のことでなく、表記について1点確認したい。22ページの推進の方向3「人権尊重と暴力等の根絶」の【図表－5，6】だが、ほかの図表の表し方が、文章のすぐ後ろに図表の番号表記をしているように思うが、ここだけ改行しているので、もしかしたら、誤って改行したのかと思い、念のため指摘させていただく。

荒木会長

ほかにいかがか。

ほかに意見がなければ、中間見直し案について指摘があった字句修正を正副一任とし、見直し案についてこのとおり決定するというのでいかがか。

委員

異議なし

荒木会長

それでは、字句修正について正副一任とした上で、この案のとおり決定する。次に市長への答申文書について事務局から配付がある。

もう一つの議題ということでよろしいか。

答申文書だが、中間見直し案の表紙としてつける案を配付した。

皆様意見はあるか。

答申文書の表紙についてこのとおり決定させていただく。

事務局に確認だが、付帯意見とあるが、付帯意見は無くなったのではないか。

事務局

付帯意見については、審議会の中で意見を付したい場合があればということで、今回は皆様から意見が無かったため、付帯意見無しということで進めていただいでよい。

荒木会長

これで諮問のあった「第3次函館市男女共同参画基本計画」の中間年度における見直しについてに関して答申の内容が決定した。

それでは、「次第3その他」について皆様から何かあるか。

なければ事務局からお願いしたい。

事務局

事務局から連絡事項が2点ある。皆様に決定いただいた答申について、修正等があるが、修正した上で今後市長に答申という形で今月中に作業をしていきたいと思っているのでよろしくお願いしたい。

基本計画の中間見直しの今後のスケジュールについて、審議会から答申をいただいて、庁内の関係部局に見直し案に付随した形で事業の取りまとめをさせていただいて、答申と合わせる形で最終的な見直し案というものを作成することになる。最終的に庁内協議を経て決定し、公表となる。公表になったら、改めて皆様に最終版を送らせていただくので、よろしくお願い申し上げます。

荒木会長

ただいまの連絡事項について質問等はあるか。

何もなければ、議事は以上で終了になる。

事務局に進行をお返りする。

池田副会長

今回このような形でまとめられたが、函館市の基本計画というのは、市独自の

ものだと聞いている。国、北海道、他都市の計画との整合性がとれてない。だから多様性を尊重する環境づくりの項目もしくは人権の項目というように意見が分かれたと思う。

もう1点は私も質問したが、比較検討する材料が無い。国と北海道などと似たような形で、作られているだろうが、函館市は、どういう点が劣っているのか、どういう点が勝っているのか、どのようにすると良いのか、市民に対してアプローチをどうしたら良いのかを比較検討するから出てくるのであって、比較検討する材料が無いということは、一番問題だと思う。なので、次回計画を新たに策定する時に、市独自では無く、国や北海道と整合性のとれた形で行った方が、アンケートなど様々な面で比較検討できるのではないかと思うので、今回は、国や北海道の基本計画を参考にしながら、全体的な構成も含めて配慮してもらえればと思うので検討願いたい。

荒木会長

進行をお返すする。

事務局

以上をもって、令和4年度第3回函館市男女共同参画審議会を終了する。

閉会（18：20）